

ICT(情報通信技術)を活用したビジネスコンテスト「X-Tech Innovation 2018」を開催

2018年12月4日(火)、FFGは株式会社北海道銀行、株式会社七十七銀行、株式会社沖縄銀行と共同運営するビジネスコンテスト「X-Tech Innovation 2018」の九州地区におけるピッチバトル(最終選考会)を開催しました。



熱のこもったプレゼンテーションの様子



登壇企業と審査員が揃って記念撮影



最優秀賞に選出されたinaho株式会社の菱木CEO(右)

■ICTを活用した新しいサービス・ビジネスアイデアを募集

「X-Tech Innovation」とは、ICTの急速な進展に伴い、独自性・新規性を有する様々なサービスが続々と誕生していることに着目し、業界・業種を横断する新しいサービス・ビジネスアイデアをスタートアップ企業から広く募集することで、優れたアイデアを発掘・表彰するコンテストです。銀行としてこれらのビジネスアイデアの事業化に向けたサポートや、地域に根差す企業とのマッチング、既存ビジネスへの活用可能性を模索することで、地域経済の活性化への貢献を目指す取り組みとして、今回で4回目の開催となりました。



各登壇者がユニークなビジネスアイデアを披露

■九州地区の最優秀賞を選出

今回は参加行に七十七銀行を加え、九州地区、沖縄地区、北海道地区の他、東北地区で初開催となりました。4地区の共通テーマを「Local X Tech=Local Tech」とし、さらに各地区で個別テーマを設け（九州地区のテーマは「API」で広がる共創ビジネス）、この2つのテーマで募集を行い、4地区合計で約120件の応募がありました。九州地区では1次選考（書類）、2次選考（面接）を経て選出された12社が最終選考会に臨み、来場者の前に熱のこもったプレゼンテーションでユニークなビジネスアイデアを発表しました。

そして審査の結果、画像処理の技術と、自社開発のロボットアームを組み合わせて、農産物を自動収穫できるロボットを開発する inaho 株式会社（代表取締役CEO 菱木豊）が九州地区の最優秀賞に選出されました。

FFGでは今後もICTを活用した先進サービス・アイデアの事業化支援や、大手企業とスタートアップ企業のマッチング機会の提供等を通じて、オープンイノベーションの促進に取り組んでまいります。

■「X-Tech Innovation 2018」の九州地区最終選考会 登壇企業・サービス概要

テーマ	企業名	サービス概要
「Local Tech」 共通テーマ	GVA TECH株式会社	AI契約書レビューサービス「AI-CONレビュー」
	最優秀賞 inaho株式会社	RaaSモデルによる次世代農業パートナーシップ
	株式会社ハタプロ	スマート経営を支える協働型AIロボットZUKKU（ズック）改
	207株式会社	在宅情報を活用した再配達問題撲滅と配達効率化システムの提供
	ザ・ハーモニー株式会社	認知症特化型対話AI「コモモン」
	優秀賞 ANIWEAR	ANIWEAR～心臓病診断のための世界初の獣医師用プラットフォーム
	セレコン	外国人のためのガイド+プラン作成+チケット購入=Selecon
「API」で広がる共創ビジネス エリアテーマ	株式会社TRUSTDOCK	e-KYC/本人確認APIサービス「TRUSTDOCK」
	株式会社データビークル	市民データサイエンスを実現する拡張アナリティクスツール「データダイバー」の提供
	株式会社トラス	登記情報×API＝無限の可能性
	優秀賞 ライブテクノロジー株式会社	画像解析APIの活用でユーザー特性の把握を簡単に
	株式会社金融工学研究所	銀行APIを通じた「みまもり口座サービス」



開催挨拶を行う横田審査委員長



イノベーション企業に求められる人材について
パネルディスカッションを開催